

# 令和2年度決算の概要

## 1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展に伴い生産年齢人口が減少する一方、社会保障費が増加していく状況において、公共施設等の老朽化対策や頻発・激甚化する自然災害への備え、さらには地域デジタル社会の推進など、様々な課題に対する取組が求められ、依然として厳しい状況にある。

このような状況の中、令和2年度においては、国全体で新型コロナウイルス感染症による甚大な影響を受けた。本市では、国からの交付金などを活用しながら、感染症対策、生活支援対策、経済対策のほか、ウィズコロナ時代に対応した施策を実施するとともに、第五次総合計画後期基本計画の最終年度として、計画に掲げた様々な事業を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計37,589,234千円、国民健康保険特別会計7,572,549千円、介護保険特別会計6,479,012千円、後期高齢者医療特別会計945,974千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

### (1) 主な新規事業

#### ア まちひとしごと創生推進事業

定住促進通学支援金を創設した。

#### イ 地域共生社会体制整備構築事業

地域住民が抱える様々な福祉の課題を受け止める「ふくし総合相談窓口」を開設し、困難事例を解決するための関連機関による相談支援包括化推進会議を立ち上げた。

#### ウ 都市公園維持管理

近藤沼公園バーベキュー施設整備工事を実施した。

#### エ 防災関係

防災基盤整備のため、防災情報伝達システム整備工事を実施した。

#### オ 教育振興事業及び小中学校施設整備事業

G I G Aスクール構想の実現に向け、児童生徒1人1台情報端末の整備及び小中学校における校内LAN改修工事を実施したほか、第二小学校トイレ改修工事、第四中学校屋内運動場大規模改修工事を実施した。

カ 三の丸芸術ホール運営

三の丸芸術ホール特定天井及びホワイエトイレ改修工事を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。

イ 一般廃棄物処理施設整備事業

ストックヤード整備工事が完了した。

ウ 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図った。

エ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から令和6年度までの21か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事56.2mを実施した。

オ 中央通り線道路改良事業

平成28年度から令和11年度までの14か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地1,674.71㎡の取得と49件の補償を実施した。

カ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から令和10年度までの43か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線側溝布設工事125.9m、区画道路改良工事137.0m、1戸2棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部二号線歩道築造工事30.9m、区画道路改良工事31.9m、4戸4棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は学校通り線築造工事44.5m、区画道路改良工事を638.6m、12戸20棟の建物移転等を実施した。

キ 広域防災拠点整備事業

災害に強いまちづくりを推進するため、広域防災拠点西側広場整備工事を実施した。